



Ⅲ 応急手当責任者カード (表面)

1 応急手当の状況を確認します

※ 下記の場合は、当日の責任者に報告する！

- 応急手当に必要な道具が不足している場合。
- 応急手当を行う人が不足している場合。
- 傷病者の容態が変化した場合。
(再度119番通報するよう依頼する)
- 傷病者の様子、行った応急手当の内容は逐次報告する。

裏面に続く



Ⅲ 応急手当責任者カード (裏面)

2 心肺蘇生法の実施

- 反応の確認
- 10秒かけて、普段どおりの呼吸があるかを確認する。

(判断に迷うならば、胸骨圧迫を実施する)

- 胸骨圧迫の正確性を確認する。
 - 圧迫位置 (胸の真ん中)
 - 垂直に胸を押せているか
 - 深さは適切か (約5 cm)
 - リズムは適切か (100~120回/分)
- 2分間を目安に胸骨圧迫を交代させる。
- 可能であれば人工呼吸を実施する。
(1秒かけて胸が軽く膨らむ位を目安)

3 AEDを使用した場合

- AED使用時の安全管理とショック回数を把握する。
- 救急隊への情報提供カードに必要事項を記入。